

根津鋼材株式会社と企業立地協定を調印

北上産業業務団地に物流倉庫を建設中の根津鋼材(株)（東京都荒川区・根津訓光代表取締役社長）との立地調印式は2日、本庁舎で行われました。調印式では同社の根津代表取締役社長と高橋敏彦市長が協定書を取り交わしました。同社は昭和12年に創業し鋼板の加工販売を行っています。平成10年に大通りに岩手営業所を開設。宮城県北部、岩手県・秋田県・青森県の80、100社の顧客に対応しています。



握手を交わす根津代表取締役社長(中央右)ら

北上市高齢者見守り安心ネットワークを調印

どから同団地に物流拠点となる「北上物流センター」の設置を決定。福島県の須賀川工場長沼工場で加工された製品を保管し、雪の多い時期でも青森、秋田方面への輸送を迅速に行えるようになります。建設中の倉庫は鉄骨平屋建てで準耐火構造。延床面積1390平方メートルで1月の操業開始を予定しています。

展勝地お花見広場植樹祭

展勝地お花見広場植樹祭は11月20日に開催されました。植樹祭には高橋市長、阿部眞希男副議長、北上さくらの会の伊藤彬会長、市民ら約80人が参加し、里桜を植樹しました。

北上市高齢者見守り安心ネットワーク調印式は5日、本庁舎で行われました。調印式では北上地区タクシー業協同組合の八重樫守民理事長と高橋市長が協定書を取り交わしました。同事業は市内で活動する事業者の協力により、高齢者のゆるやかな見守り活動を行うことで、高齢者が地域で安心して生活できる地域社会を

目指すもの。高齢者などの異変を発見した協力事業者が市長寿介護課に連絡、同課が安否確認を行うなど適切な支援・処置を行います。昨年度に電気・ガス・水道など25の事業者と協定を締結。これまで市へ8件の連絡がありました。今回の締結で26者目。同組合からはこれまでも徘徊している高齢者や路上で動けなくなっている高齢者の

広場へ植樹することで、5月中旬ごろまで桜を楽しめるようにするものです。里桜は展勝地開園100周年記念事業準備委員会の協力により6樹種78本を選定、配置箇所を決定し植樹。植えた桜の一部は来春に開花見込みです。▽選定された里桜：シロタエ、ベニユタカ、ヨウキヒ、シヨウゲツ、カンザン、フゲンゾウ



記念撮影を行う参加者



協定書を手にする八重樫理事長(右)と高橋市長

市内の避難者状況

(11月30日現在)

区市町村	宮古市	山田町	大槌町	釜石市	大船渡市
世帯	1(0)	11(0)	22(0)	13(-1)	7(0)
人数	2(0)	22(0)	36(0)	25(-2)	12(0)
区市町村	陸前高田市	宮城県	福島県	合計	
世帯	8(0)	8(0)	8(0)	78(-1)	
人数	10(0)	11(0)	19(0)	137(-2)	

※()は前月比。市で把握している人数です。市内に避難している人で、まだ北上市に連絡していない人はご連絡ください。

通報などで協力を得ています。八重樫理事長は協定の締結で、改めて従業員への趣旨の徹底を図ることができると話し、さらなる見守り体制の強化が見込まれます。

募集！北上市地域おこし協力隊

市は、平成29年4月1日委嘱の地域おこし協力隊員を募集しています。三大都市(東京・大阪・名古屋)圏などにお住まいの知り合いなどで興味がある人がいましたらぜひご紹介ください。

○地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊とは、三大都市圏など地域外の人材を積極的に受け入れ、地域おこし活動を積極的に行ってもらいながら、その地域への定住・定着を図り、地域の維持・強化を図る制度です。

隊員は、おおむね1～3年の期間、地方自治体の委嘱を受け、地域で生活。各種の地域協力活動を行っていただきます。北上市では本年度から5人の協力隊員が活動中です。

○募集内容

◎黒岩産直活性化プロジェクト隊員

- ▷定員…1人
- ▷業種…黒岩まんなか広場産直・食堂のCEO(最高経営責任者)
- ▷活動内容…黒岩の資源を生かしたもうかる里山ビジネスモデルの推進を地域とともに目指します

◎口内地区新規就農プロジェクト隊員

- ▷定員…1～2人
- ▷業種…畑作を中心とした新規就農者
- ▷活動内容…さまざまな農産物の生産現場で研修を受けた後、生産する農産物を決定します。その後、地域のサポートを受けながら生産を行います

- ▶報酬…月額20万円(活動日数が20日未満の勤務月は月額1万円)
※活動の対価として報酬を支払います。市と雇用関係はありません。
- ▶活動日数…月20日(1日8時間程度)
- ▶要件…三大都市圏などに住民票がある人で、隊員となるために北上市へ生活拠点および住民票を異動することができる人
※活動条件など詳細については、同課までお問い合わせください。

<JOIN移住・交流 & 地域おこしフェア>

- ▷とき…1月15日(日)午前10時～午後5時
- ▷ところ…東京ビッグサイト西2ホール(江東区有明3-11-1)
- <個別説明会>
- ▷とき…1月26日(木)午後6時～8時
- ▷ところ…ふるさと暮らし情報センター・東京(千代田区有楽町2-10-1東京交通会館8階)

問い合わせ 政策企画課 ☎72-8308

口は災いのもと？



今年一年を漢字一文字で表すと「金」だそうである。リオはオリンピックで、岩手は国体で盛りあげた。希望郷いわて国体を始め、今年一年の皆さんのがんばりに敬意と感謝を申し上げたい。その一方で表題の「口は災いのもと」を感じた年でもあった。

某大統領選挙では候補者の乱暴な発言に世界中の人々が閉口すること度々。大衆ウケを狙った発言で真偽のほどは分からないが、公約となると事は重大で、世界に与える影響は計り知れない。災いが転じて福に変わることを祈るばかりである。

日本でも政治家の発言があらゆる方面に影響し、国会の審議が何回止まったことか。これも聴衆へのいわゆるリッ

プサービスから出たものであろうが、聞いているのはその場にいる人ばかりではない。

ある芸能人が酒席で、「北上に何度も来ていないのに市長があいさつにこないね」と言ったらしいと聞き、公演前日、宿の女将に頼んで北上市ゆかりのお酒を届けておいた。ところが当日、あろう事か「市長は手ぶらで楽屋に来た」と言って笑いを取ろうとしたのである。慌てたのが頼まれた宿の女将だ。確かにお土産をお出ししたのに、手ぶらで来たと言われてびっくりしたそうである。

早々に弁解のご報告をいただいたが、何と後味の悪い事か。その場を盛り上げようと誰かをいじって話をする事はよくある事だが、気を悪くしたのは誰よりもその場にいた市民や女将だったのではないだろうか。

政治家や芸能人は誰よりも人前で話す機会が多く、そしてその影響力も小さくはない。だからこそ、その場の盛り上げただけではなく、できるだけ多くの人々への気配りが必要である。自戒の念も含めて肝に命じておきたい。